

実行部門	所属	評価	取組	効果	(参考)優秀な取組とまではならなかったもの	
行政 経営部	企画経営課	②	[省資源・ごみ減量] ・基本構想策定推進市民会議を、オンライン・オンサイト併用形式にて実施し、事前に資料をメールにて委員に共有すること及びWEB会議システムを使用した画面共有により、当日の紙資料配布を廃止した。	・従来に比べ、紙の消費量を大幅に削減した。	第2回内部環境監査会審議の結果、優秀な取組候補から「(参考)優秀な取組とまではならなかったもの」になった。	
		②	[省資源・ごみ減量] オンライン会議推進の観点から、管理職へタブレット端末を貸与し、全庁的な業務効率化及び紙使用量の削減に取り組んだ。	・従来に比べ、紙の消費量を大幅に削減した。		
		②	[省資源・ごみ減量] ・各種発行物に関して、電子化を推進し、発行部数の最適化を図った。	・従来に比べ、紙の消費量を大幅に削減した。		
	財政課	①	[省資源・ごみ減量] ・庁内用冊子等資料において、タブレットを活用したデータ提供を行うことで、適正部数の印刷を行っている。また、資料の作成時においても、自席のパソコンにモニターを併用することで、作成に必要な根拠資料等の印刷を不要とした。	・タブレットの活用やデータの提供により、庁内用冊子等資料の印刷枚数を適正化した。		・文書の管理においては、1年保存の文書(庁内照会等)を中心に裏紙利用の徹底を図るとともに、文書管理システム活用等による電子決裁の促進を行っている。 裏紙の利用や電子決裁を促進したことに伴い、課の環境目標である「紙使用削減の推進」を推進するとともに、データでの管理を行うことで、庁内における紙の使用量の削減に寄与した。
		③	[研修] ・研修内容について クイズ形式を取り入れるなど、実施方法の工夫を図った。 また、暑くなる季節に向けた夏の電力需要のピーク時間帯や省エネ方法の確認し、新型コロナウイルス感染防止のための換気との両立に配慮した話し合いを行った。	・クイズ形式にすることにより、親しみやすい、記憶に残りやすいことが考えられ、高い研修効果が見込まれ、その結果、環境保全に寄与している。 今年の夏は電力供給がひっ迫状態であったため、暑くなる季節の直前に研修を行うことで、電力の省エネに寄与した。		
	秘書課		—			
広報課						
総務部	総務課					
	法制課					
	人事課	①	[省エネ] ・これまで全国的なクールビズと連動し、ノー上着・ノーネクタイ運動を実施し、省エネルギーの推進と業務効率の向上を図ってきた。 11月からは、公務にふさわしい服装を基本としながら、TPO(時・場所・場合)に応じた快適で働きやすい服装での勤務による業務効率の向上を図ること等を目的に、「Chofu版ウォームビズ」を試行実施	(11月から実施予定)	・紙の使用量の削減の取組では、会議でのペーパーレス化やオンライン研修の推進を行っていることを、記載に加えてよいのではないか(監査員からの提案)。	
	契約課		—			
	営繕課		—		契約事務において、今年度から電子化をさらに促進させ、図面に要する紙の使用を削減した取組について、優秀な取組として挙げても良いのではないかと。	

実行部門	所属	評価	取組	効果	(参考)優秀な取組とまではならなかったもの
市民部	市民税課		—		
	資産税課				<p>・郵便物差出依頼表や窓口日計表といった毎日のように紙ベースで出力する様式については、裏紙利用を徹底している。こうした取組を通して、用紙購入量の削減に取り組んでいる。</p> <p>また、常時プリンターの手差しトレイに裏紙をセットし、積極的な裏紙利用を推進している。</p> <p>紙の使用量削減のため、電子決済、供覧が可能なものについては、文書管理システムを使用し、完結まで行っている。</p>
	納税課	① ②	<p>【グリーン購入】</p> <p>・消耗品発注時に使用するカタログに、グリーン購入法適合商品の見分け方や、グリーン購入状況報告の対象品目を追記し、すぐにグリーン購入法の適否を確認できるようにしている。これにより、グリーン購入に対する職員の意識啓発を図り、グリーン購入割合100%を目指している。</p>	<p>・消耗品購入のたびにグリーン購入基準や商品検索を行う必要がないため、作業の効率化に繋がっている。また、頻繁に見返す機会があることで、グリーン購入法適合商品購入の推進や対象品目に対する意識が各職員に定着しており、令和4年度上半期はグリーン購入割合100%を達成した。</p>	
	市民課		—		
	市民相談課		—		
都市整備部	都市計画課	②	<p>【省資源・ごみ減量】</p> <p>・部内会議の資料配布を紙(45部、平均約20ページ)から「sidebooks」へ切り替え、電子決済や電子供覧の積極的な活用で課内全体で取り組んだことから、紙が削減された。</p>	<p>・部内会 45部 × 20ページ × 4回(1か月) = 3,600枚の削減 × 12か月 = 年間43,200枚削減(A4:17箱強の削減)</p>	
	住宅課	②	<p>【省資源・ごみ減量】</p> <p>・都営住宅募集に係る募集案内及び申込書の配布を年に4回行っている。配布の際は東京都から冊子類が配送されるが、募集終了後は冊子類の廃棄を市で行わなければならない。冊子の廃棄数の削減を考えていたが、令和4年度よりオンライン申込みが開始したことをきっかけに、市への配送部数を少なくするよう依頼し、それにより廃棄量の削減を図れた。今後も市民への配布実績を見ながら、さらなる廃棄量の削減を行っていく。</p>	<p>・冊子等廃棄実績:令和3年度・842部→令和4年度・510部(同時期の部数を比較)</p>	
	街づくり事業課	②	<p>【省資源・ごみ減量】</p> <p>・使用済みの封筒を交換使用としてだけでなく、課内で供覧する際の板目の代わりとして使用している。</p>	<p>・ごみの量の削減だけでなく、板目の購入も抑えられ、経費や資源消費量の削減につながっている。</p> <p>令和3年度及び4年度の購入は、事業用に必要とする物等、必要最低限に抑えられている。</p>	
	用地課		—		
	道路管理課		—		
	交通対策課		—		<p>・プリンター下に環境方針を張り出すことで、全職員が1日1回は確認することができ、環境に対する意識付けになっている。</p>
	建築指導課				<p>・当初、当課で実施する建築審査会という外部有識者に出席いただく会議体、ペットボトル飲料及びプラスチックコップを提供していた。</p> <p>令和2年の内部監査にてプラスチックコップを紙コップに変更した旨の回答をしたが、海洋プラスチックごみ削減及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、飲料の提供自体を廃止することとした。</p> <p>飲料の提供を廃止したことにより、プラスチックごみの減量及び海洋汚染防止に繋がる。</p>

第2回内部環境監査会審議の結果、優秀な取組候補から「(参考)優秀な取組とまではならなかったもの」になった。

第2回内部環境監査会審議の結果、優秀な取組候補から「(参考)優秀な取組とまではならなかったもの」になった。

実行部門	所属	評価	取組	効果	(参考)優秀な取組とまではならなかったもの
選挙管理委員会事務局		②	[省資源・ごみ減量] ・選挙時に使用する掲示物で、次回以降も使用するもの(選挙名や選挙期日の記載のない掲示物)はラミネート加工をし、繰り返し使用している。	・紙の使用量の削減、印刷数の減少による事務作業効率の向上及び廃棄用紙の削減。	
		②	[省資源・ごみ減量] ・投票所の胎いで購入していたお茶を、紙パックからスチール缶へ変更した。	・スチール缶飲料にしたことでストローや包装のプラスチックごみ排出の抑制(1000本程度)につながった。	
		②	[省資源・ごみ減量] ・毎月の自己チェックリスト(集計用)について、庁内ファイルサーバー上で各職員がデータ更新	・記入用紙を印刷しないため、資源消費量の削減につながっている。 また、各職員がそれぞれ入力しているため、ISO担当者の事務負担軽減にもつながっている。	
監査事務局		—			
議会事務局		②	・タブレット端末の導入により、ペーパーレスの取組を実施しており、議員とのやり取りでも資料等を紙ではなくデータで受け渡しをするように働きかけている。 また、議員も利用する給湯室に環境方針を掲示することで環境への意識啓発に努めている。	・議員とのやり取りの度に毎回印刷を行う必要がなくなったため、作業の効率化及び資源消費量の削減にも大きく寄与している。 また、議員も利用する給湯室に環境方針を掲示することで、環境への意識啓発に寄与している。	

環境に係る重要度が高い所属

総務部 管財課		—			
ISO事務局		—			・「優秀な取組確認書」を提出するまでもないが、調布市の環境や地球環境の保護・改善に対する全庁のマネジメントを行い、課題解決に向けた取組を行っている。

計(件数)	14
-------	----

【評価】

- ① 環境への改善効果が大いこと。
- ② 作業の効率化や経費・資源消費量の削減効果が大いこと。
- ③ システムの推進に大きく貢献していること。